

広報

なんたん


Vol.98



【特集1】南丹市の未来を共に考え、創ってゆく
【特集2】園部藩 立藩400年記念事業 ダイジェスト

2019年12月・
2020年1月号



市公式Facebook
市内での出来事や市に関する
情報を紹介します



市公式LINE
開催予定のイベント情報や
防災・気象情報をお届けします





南丹市の未来を

共に考え、創ってゆく

今年7月25日から8月31日にかけて、市内9会場で市民の皆さんのご意見・ご提言を伺う「市政懇談会」を開催し、西村市長をはじめ市の幹部職員が出席しました。

懇談会では、市長が南丹市における公共施設の再配置計画や市政運営の取り組みについて説明を行った後、市民の皆さんからさまざまなご意見やご提案、ご要望をお聴きしました。

いただいたご意見などの中から、主な質疑応答の内容を、抜粋して項目別に紹介します。なお、紙面の都合により、全ての質疑応答を紹介できませんが、市ホームページに掲載しています。

■掲載場所 ホーム▽市政▽広報・広聴・発刊物▽**市政懇談会**

●実施会場と参加者数

開催日	会場	参加者数
7月25日(木)	南丹市役所	35人
7月30日(火)	八木公民館	53人
8月1日(木)	日吉支所	22人
8月3日(土)	日吉町胡麻基幹集落センター	24人
8月4日(日)	八木農村環境公園「氷室の郷」	16人
8月7日(水)	美山文化ホール	25人
8月10日(土)	旧鶴ヶ岡小学校	12人
8月18日(日)	旧摩気小学校	19人
8月31日(土)	旧知井小学校	29人
合計		235人

広報 なんたん もくじ

- ② **【特集1】南丹市の未来を共に考え、創ってゆく**
- ⑩ **【特集2】園部藩 立藩400年記念事業 ダイジェスト**
- ⑫ 財政状況を公表します
- ⑯ 行政トピックス
 - ・明るく、やさしい地域づくり地域連携研修大会
 - ・令和元年度南丹市戦没者追悼式
 - ・地域の相談役 民生児童委員を紹介します
- ⑳ 活躍する南丹市の人びと
- ㉑ 景観の小窓
- ㉒ 南丹市地域おこし協力隊レポート／福祉とわたし
- ㉓ 食は、ひとつづくり、まちづくり
- ㉔ いきいき南丹
- ㉕ 人権の窓／ふ・れ・あ・い
- ㉖ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと
- ㉗ ぶらりなんたん
- ㉘ みんなのひろば
 - ・まちなかハロウィン2019
 - ・南丹市心のバリアフリー交流会 ほか
- ㉚ News Digest 2019
- ㉛ なんたんミュージアム／わが家のアイドル

今月の表紙

10月27日、園部藩立藩400年記念イベントが開催され、「甞れ。生身天満宮祭礼絵巻」の行列では、沿道から多くの方が見物し、温かい声援を送っていました。



公共施設の再配置計画

問 公共施設の集約化などのスケジュールは決まっているのか。

答 庁内で検討する内容は、施設が多くあるため一度には進まないし、原案を固めるのに相当な議論時間を要すると考えられる。少し時間をいただきたい。市民サービスと財政・財源の妥協点、合意点を考えながら進めていきたい。

問 ゴミ焼却場とか八木駅舎の改築の問題とかさまざまの大ホールの建築とか、これらもたくさんの方の公共施設を作っていくかなければならない状況の中で、市役所の改築問題は具体的にどうなっているのか。

答 本庁舎については庁内で検討を進め、議会でも庁舎専門の特別委員会を設け議論されている。既存の庁舎建物はできるだけ活用したいと考えている。場所は現庁舎付近を予定している。



▶新八木駅舎イメージ図

問 市内には、多くの集会施設などがあるが、全部の場所を直す、修理するのではなくて南丹市として一つの大きな施設にするのはだめなのか。

答 市内でまとまったホールは一つでいいと考える。ただ、それぞれ地域を上げて取り組まれた経過があるので、調整していく必要がある。また、他市では集会施設を民間が創意工夫を凝らして、運営され使用の幅を広げるなどされている。本市でも、今後考えていく必要がある。

問 公共施設の更新問題について、若い人たちを含めた住民の声をどう集約されていくのか。このような場で市民の声を聴くのも一つの手法とは思いますが、このような場になかなか若い人は来られない。ただ、将来中心となる若い人たちの声を集約することは必要だと思う。具体的には、ホームページの中にサイトを作った自由に議論に参加してもらおうなど、自分のまちな事を考える良いきっかけになると思う。

答

若い人の声などはこれから検討していく必要があるが、例えば、インターネットなどを使って情報発信して意見を求めるといったのも一つの方法と考える。現に市ホームページでは意見募集のご意見箱を設けているが、具体的に公共施設の再配置の原案を提示し、意見を求めていくことも一つの方法と考える。

問

それぞれの施設は目的があつて作られたものなので、目的を達成していれば見直す必要があるし、新規の建設も既存の施設の補修などで対応できないか考えてほしい。

答

公共施設の見直しは進めていかなければならない。例えば保育所は、市が直営で施設を整備すると何億円もお金が必要となるが、民営で施設整備をしていただくと、かなりの割合の国の補助金がいだける。市がやる部分と民間に委ねる部分に分け、役割分担しながら市の財政負担を減らしていけたらと考えている。

暮らしの安心と安全

問

西日本豪雨(平成30年7月豪雨)ならびに台風による災害により甚大な被害を被った。南丹市自治振興補助金により応急的な処置はできたが、現在も土砂が溜まっており、雨が降ると斜面が削れ、またその横に土砂が溜まる。豪雨に備えた予防的、恒久的な対策を行うには莫大な費用がかかり、自治会だけでは対応が困難であるため、財政的支援ならびにアドバイスなどをお願いしたい。

答

京都府に対して小規模治山事業の要望を提出したが、該当しないということで、現在新たな制度を探している状況である。

問

防災無線の放送について行方不明者と火事が発生した時に、いかに皆さんに早く知らせるかが大切なのに、放送を中止された。合理化は必要ですが、緊急対応が必要なものは残していただきたい。

答

プライバシーの問題の訴えは敗訴することが多くあることから、放送の中止に至っている。法的にも整理して、可能な部分は放送していきたいと考えている。

問

美山診療所が直営になり大勢の医師に来ていただけたら、出張診療もできると思う。住民の命と暮らしを守るために、直営化をよろしく願います。

答

出張診療は、市内でも園町神吉診療所で、地域の開業医にお世話になり出張診療が行われている。このように美山診療所もできたらと考えている。

問

美山診療所の安定した経営のために直営化を目指すということの方針を出されているが、具体的にはまだまだこれからと言いつつ時間があまりないので課題である。具体的について直営に切り替わっていくのか具体的に示してほしい。

答

確保できている医師は来年会に所属いただき、その間に運営方法や医療職の給与体系など詳細に決め、令和3年度から運営できればと思っているが、まだ十分な詰めができていないため、相談しながら決めていきたい。



▲西日本豪雨による日吉ダムの放流



活気ある産業の振興

問

吉富駅西区画整理事業については平成19年に都市計画区域決定がされ、事業許可をとったが、10年以上事業が凍結しており、府道竹井室河原線、準用河川板野川および下水道の整備が全く進まず、地域活性化あるいは地域の発展に大きな阻害要因として、今日まで発展を妨げているので、事業化をお願いしたい。

答

区画整理事業は地域の皆さんの協力がないと事業化は難しいが、区画整理組合準備会の解散というような情報を得ている。現在、民間の力を活用するなどの手法を探している状況である。

問

施設を維持するには多額の経費がかかるというお話であったが、そんな中で企業誘致を充実させてお金を集めることが大切である。企業誘致に対する働きかけはどのようにされているか。

答

企業に来ていただける場所がないため呼べないというのが実情である。現在、京都府や国に新たな調整区域で工場立地ができないか訴えている。また、京都府にも新光悦村の区画の見直しを要望している。もう一度、工場に来ていただける土地づくりに取り組んでいかなければならないのが実情である。

問

海外からの人材の受け入れについて、現在南丹市は何人の方を受け入れているのか。

答

労働力不足の関係で南丹市内に住民票をおいている方だけとは限らないが、今年7月末現在で住民基本台帳に登録いただいている外国人の数339人となっている。

問

南丹市においても11月か12月頃にサルやイノシシ、シカの被害調査を毎年行われているが、調査書類を出すばかりで実態調査は全くない。出さない場合は来年度の施設の設置は認め

ないとのこと。毎年出しても集落に返ってこない。出したものが受け止められているのか、また、それに対してどのような考え方をされているのか。

答

各地区に対して毎年12月10月頃に防除施設の調査もさせていただいている。それとは別に10月頃に防除施設の調査もさせていただいている。防除施設は国からの補助金をもらう関係で来年度の予算・経費の必要額を事前に把握する必要がある。地元に入っている実態調査については、そのような形で取り組めるよう考えていきたい。

問

獣害は非常に深刻な問題で生産意欲を無くしている。夜に狩猟ができる特区をつくるなど、市をあげて抜本的で思い切った獣害対策を打っていただきたい。

答

昨年からは、JAからの申請による駆除なども行われ、市の施策と併せて努力いただいているところ。さまざまな方法を検討しながら、また、国への鳥獣対策要望でも特区の件を話題にしたい。

問

日吉町の農家には商売としてではなく、自給自足のような形で農業をしている人が多い。国、府に小規模農家向けの補助がないとしても南丹市は南丹市の地域特性を生かした農業施策をするべきではないか。例えば南丹市で農業機械を購入して、小規模農家に貸し出すなどの方法を考えてほしい。



▲広域捕獲前に作戦会議を行う猟友会メンバーら

答

小規模農家の経営については意見を受け止める。なお、耕作放棄地の活用も併せて、南丹市の農業の今後については市民の方々からも知恵をいただきたい。

問

農業についての取り組み、農業行政をどのように思っておられるのかお聞きしたい。

答

米作については、国の方針である事業の拡大、集約化の取り組みを京都府の農政と一緒に進めて取り組んでおり、株式会社ライスセンターを立ち上げられるなどの取り組みが進んでいる。一つの大きな流れとして、今までは集落営農という共同作業によって農地を維持し作付けを行っていたが、それが農業後継者の問題などで見通しが立たないところも出てきていることから農業を法人化して企業的な農業の生産形態が進んでいくと考えられる。農業後継者の取り組みについては、南丹市では「がんばる農業応援事業」という支援事業で集落営農組織や認定農業者などを補助対

象者にして支援を広げてきた。

農作物の販売については、周辺にある野菜の販売場所を、もう少し市の中心に持ってこられる取り組みができればと考えている。また、農作物のブランド化については、朝倉山椒を丹波栗の増産と合わせて少し品目を絞った取り組みができないかと考えている。

鳥獣対策については、昨年、JAにお願いでして檻設置などを進めていただいた。引き続き進めることはやっていきたいが、難しいのが事実。

今年には斎田を設置してお米を献上する大嘗祭がある。京都丹波に斎田が来るとブランドイメージが上がりお米の認知度も上げられる。また小規模な各集落のライスセンターができるとう個性化が進みブランドとしてお米の値段を上げる要素になると思うので、そのような取り組みも進んでいけばと思う。また、農家の作付けの安定を図るため南丹市内に多くある食品会社と契約をして栽培できないか考えている。

地域の個性を生かして

問

ものづくりの町としてあった新光悦村の現在は、旧4町で違った個性があるが、今後の方向性は。また、駅周辺（特に園部駅）の賑わいがいい気がする。もっと活気づけばいいと思う。

答

新光悦村の山際の土地が全て土砂災害特別警戒区域ということで、建築制限がかかり大変困っている。それ以外の使えるところについてはもう足りないぐらいに埋まってきた。今年の京都府要望や国の要望などでもそれをアピールしていきたい。違った個性を持った者が手を結ばばもっと光ると思う。園部に観光協会を設立し、4町を巡るルートなどが作られれば奥行がかなりでる。これからどう連携していくかが大きな課題である。駅周辺に昔は飲食店などがあったが駐車場に変わってきた。地権者の皆さんがテナントビルの建設などの活用がされると新しい取り組みができるのではないかと考えている。



▲京都新光悦村

問

美山地域を「日本で最も美しい村連合」の地域会員に登録して、南丹市の知名度向上につなげてはどうか。

答

景観を大切にしたらまちづくりについては非常に賛成する。登録するとは即答できないが、どのようなものなのか調べさせていたいただいて取り組み方について今後考えていかねばならない課題であると考えている。

問

地元の貴重な文化遺産である「城山」の安全な登山道の復旧整備と歴史文化の発信に支援をお願いしたい。

答

昨年補正予算で特殊な航空写真測量を行った。もう少し城全体の詳細全容調査を進めながら京都府とともに文化財保護的な観点から考える必要があるが、歩道については、文化財保護行政の立場から重機を入れての登山道の再整備は難しいと考えるため、文化財保護行政と登山を観光資源として活用し、共存できる方法を探っていききたい。今後、史跡指定に向けての動きについても相談させていただきたい。



▲八木城の遺構が残る城山

若者が定住できるまち

問

南丹市で人口が増えて活気づいているところは内林地区だけだとは思いますが、南丹市は活気づいているところばかりに力を入れている（市営バスの増便など）気がする。そのあたりを早急に改めていただきたい。

答

確かに今、内林地区は子どもが100人を超えている。京都府に対しては、京都府知事に権限がある市街化区域や市街化調整区域などの従来の線引きを何とか外してもらえないか話している。それができなくても集落内の空き地などに家を建てる制度として住民の合意のもとで土地利用や整備目標などを定めた地区計画が作られれば家を建てることのできるの、どこかでモデル的に取り組みができないかと考えている。

（地域振興部長）人口減少が著しい地域においては、移住地域、移住促進特別区域という地区指定をしている。Uターン、Iターンの方には新築、改築費用を南丹市商

品券などで支援している。また、

定住促進サポートセンターの開設や空き家バンク創設などの取り組みもしている。今後も地域の方々や郵便局長などになっていただいている「田舎ぐらしナビゲーター」の方と連携して地域が元気になるように取り組みたい。

問

人口の減少を止めるのに、現在までどのような取り組みんできたか。また、これからのように取り組まれるか。

答

Iターン、Uターンのための空き家バンクを設け、空き家の積極的な活用や新規就農者を増やしていくなどの取り組みを実施。地域のもつ力を発信しながら興味を持っていただき、地域に入ってもらおう。また、就労先の拡大や土地区画整理事業による住宅開発を進めていきたい。

教育・文化と人権の尊重

問

教育予算の在り方について（問題点、課題が反映されていない）

答

（教育長）教育予算については、年度末に学校からあがってきた要望を基に、各校事務職員を通じて予算の配分をしている。学校の担当者とともに、予算の要求なども工夫していく。

問

美山の子どもはバス通学のため、普段は姿が見えず声が聞けないが、CATVに出たり、午後7時の防災無線で声が聞けたりすると嬉しい気持ちになる。

答

（教育長）子どもの事を知れてありがたいという声も聞いている。今後の学校と地域をつなぐ地域コーディネーターやコミュニティスクールについてもご理解をお願いする。

問

地域の子どもたちが自分たちの考えや意見をもつ機会である子ども議会について、昨年度に引き続き今年も実施していただきたい。

答

(教育長)「子ども議会」ではなく「市長と語ろう私たちのまちづくり」ということで、今年は少し時期を早めて8月23日に開催する。今年も環境問題について意見を聞きたいと考えている。



▲「市長と語ろう私たちのまちづくり」集合写真

問

南丹市のケーブルテレビで児童の修学旅行や卒業式などを放送していますが、児童の人権という立場で公共の電波で放送すべきなのか疑問を感じています。放送について教育長の見解をお聞きしたい。

答

(教育長)最近の子どもたちは自己肯定感がなかなか持てない。そのような意味も含め、自分が活躍しているところを自分自身も観たり、家族や地域の人も観たりということで、学校教育の内容を一般の方々に知っていただくのは非常に大事なことでと考えている。現在、地域と学校と一緒に子どもを育てていただくというコミュニケーションに取り組んでおり地域の方に子どもたちの状況を知っていただき、そして地域全体で子どもたちを守っていただくという部分でかなり効果があるのではないかと考えている。子どもの中にも賛否両論あるかもしれないが、今後、一度子どもたちの状況も学校に聞き、工夫をしなければならぬ部分が出てきた場合は、考えさせていただきたい。

問

地元で愛情を持つような教育というのは公教育では難しいのかなと感じる。地元で暮らすことの素晴らしさなどが伝わっていないと思う。また工場でたくさん人を雇うより、個人がいろいろな職業を持って、さまざまなることをやりながらその地域に住むということは大事かと思う。

答

へき地教育の研究会で発表され、教室から飛び出して地域の家庭や行事に入り込むなど、非常に感動したところがあった。また、里山経済学のように上手く経済を回して、近所の人を2、3人雇って一緒に仕事するといったところが多くできればと考えている。

市政運営の取り組み

問

市役所ならびに支所の電話対応について、さわやかな対応をしていただくためにも、総務部長通達で全課・全職員に、朝は「おはようございます」という言葉を添えて「〇〇課担当〇〇です」という形で部課名と氏名を名乗って電話対応するよう通達を出していただきたい。

答

大変なことであるので、管理職だけでなく、全職員に周知できる方法を考えた。また、電話のマナー研修も新規採用職員を中心に実施しているが、全職員での対応も考える。

問

新規のまちおこし事業については助成金・補助金の制度があるが、歴史ある地域伝統行事の維持に対しては補助する制度が無いと感じる。検討していただけないか。



答

南丹市には地域の伝統行事が複数あるが、例えば無形文化財として京都府の指定を受ける衣装や小道具の購入に対して補助が出る場合がある。ただ、運営面の補助には手が回っていないのも事実。補助金行政については、市単独で動くのは難しい面もあるが、地域の自主的な市民活動に対する「市民提案型まちづくり活動支援交付金」なども検討してみたい。

問

ITの活用による申し込みや申請の業務の効率化は考えておられるか。

答

非常に関心の高い分野。保育所の入所基準をAI化するとボタン一つで査定できたりする。現在も一定進めている。今後も良い事例があればコストと相談して進めていきたい。良い情報があれば教えていただきたい。

問

支所が4月から縮小化されたが、将来的には廃止というかたちを考えているのか。

答

支所の問題については、職員が合併時から80人あまり減っているが、定数管理をしながら人件費を抑えることによって、財政が健全化できるよう支出を抑えている。交付税もこの5年間で10億円減ってきており、財政的にも非常に厳しい。職員の定数を減らすと同時に組織体制を見直さないといけない状況であるが、支所は残していきたいと考えており、また、それを補完するような機能が必要ではないかと考えている。

問

市に対して5月の区長会の後、市に要望書を出している。危ないものは要望してほしくない、できるだけ通してほしい。併せて府の関係も一緒に出しているが「府の方に要請します」との回答が返ってくる。もう少し市の方から厳しい言い方で府へお願いしてほしい。

答

要望についてはすべて市長まで上がってくる。京都府への要望については府に働きかけている。要望については優先順位をつけて実施しているが、事業実施に向けてできるだけ予算確保をしていきたい。

問

市のさまざまな情報というのにはホームページで見えております。ホームページはいつ頃リニューアルされるのか教えてください。

答

ホームページは、昨年と今年度にかけてリニューアルに向けて作業を進めており、現在、最終段階までできているので、間もなく新しい画面を見ただけ。使いやすくなっているところも、ご確認いただければ嬉しい。

※11月26日より市ホームページがリニューアルされました。ぜひご覧ください。

アンケートのご意見(抜粋)

- ・広報で、保育所や小学校等に重点をおいて、子育て世帯の参加を強めていくべきと考えます。
- ・市政懇談会は自主参加ですが、各団体PTAなどにお声かけいただければ参加者も少しは増えると思います。
- ・開会の市長のごあいさつの内容を資料として提供してほしい。その事により質問の時間が多くできると思いました。活発な討論がなされ、よい機会である。
- ・市長から具体的な施策、支援の方策も考えていただいている回答があり安心できました。ありがとうございます。
- ・要望でなく、ざっくばらんに話をする会で良いと思う。3時間ほど自由時間にしては。開催を早めに地元知らせてほしい。

お聞かせいただいたご意見は、これからの市政運営の参考にさせていただきます。

【問い合わせ先】

秘書広報課

TEL(0771)68-0065



【特集2】

園部藩立藩四〇〇年記念事業 ダイジエスト



10月20日には、立藩400年を記念して、多くの行事やイベントが開催されました。



巡行する大神輿



先頭を歩く武士



太鼓の演奏とともに出発する神幸行列



祭囃子の演奏



よさこいの演奏



祭礼絵巻

蘇れ。生身天満宮祭礼絵巻

日本最古といわれている生身天満宮に保存されている「祭礼絵巻」には、総勢500人におよぶ神幸行列の様子が描かれています。江戸時代に園部藩5代目藩主の小出秀持が始めたことされ、調査研究に基づき再現しました。

出発地点となった生身天満宮には、武士や町衆に扮した氏子や一般公募の参加者ら200人が集い、小山太鼓とふれあい太鼓の演奏とともに行列を進めました。大神輿は約30年ぶりに巡行し、途中、笛や太鼓などを演奏しながら巡行する宮町区の丹波祭囃子らと合流し、町内を練り歩きました。

小出吉親

ゆかりの地めぐり

1619（元和5）年、小出吉親こいでよしが出石から転封となり、園部藩の初代藩主となりました。吉親に
関わりの深かったゆかりのある地を巡ろうと、吉親本人や夫人、女中や家来役に扮した参加者らが足跡を巡りました。

生身天満宮や小出氏の御廟所、菩提寺である徳雲寺や守護神として崇めた摩気神社などを訪問しました。



▲生身天満宮

▼小出氏の霊がまつられている御廟所



▼トークセッションの様子



▲（左から）慶元さん、MAKOTOさん、谷口さん



▲語り合う学芸員の皆さん

▼講演する山田さん



▼公開講座の様子



▲養成講座の様子

α-STATION SPECIAL EVENT in 南丹市

国際交流会館では、α-STATIONの公開収録を開催。DJ慶元まさ美さん、ゲストDJとしてキヨピーこと谷口キヨコさん、ジャズシンガーのMAKOTOさんに登場いただきました。西村市長とのトークセッションやMAKOTOさんのライブがあり、多くの方が来場しました。

園部藩のあゆみ

シンポジウム

10月27日、「園部藩と丹波の諸藩」と題して記念シンポジウムが開かれました。元京都府立総合資料館職員で京都府立大学文学部共同研究員の山田洋一さんが講演し、小出氏が園部に転封された経過などについて解説されました。
また、南丹市や亀岡市、福知山市の学芸員がパネリストとなり、丹波7藩の政治や特徴などを紹介されました。

森の京都

なんたんカレッジ

8月から12月にかけて「地域学芸員養成講座」と「公開講座」が開催されました。養成講座は全12回開催され、園部藩の誕生から終焉までを学びます。全講座に参加した13人の受講生には修了書が手渡されました。
公開講座は全3回開催され、9月に市指定文化財となった歴代藩主の肖像画の見学や講演会などが開催されました。

公表します!

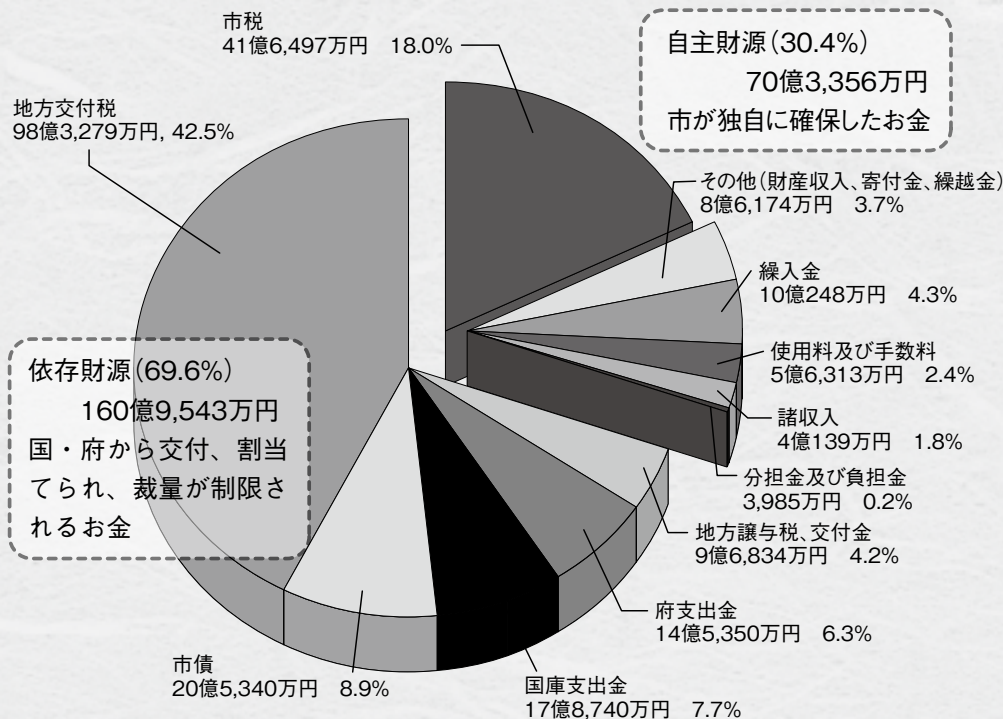
※表示単位未満四捨五入のため
合計が一致しないことがあります。

皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるのかを知っていただくため、年2回財政状況を公表しています。

今回は平成30年度(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)の決算状況と令和元年度上半期(平成31年4月1日から令和元年9月30日)までの予算執行状況をお知らせします。

平成30年度決算

一般会計 歳入
231億2,899万円



○一般会計の決算
平成30年度の一般会計決算は、歳入総額231億2,899万円、歳出総額221億7,147万円となりました。歳入歳出差引額は9億5,752万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき財源3億7,471万円を差し引いた実質収支額は5億8,281万円の黒字決算となりました。
南丹市では、今後とも事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
平成30年度		—	—	13.6%	92.2%
早期健全化基準		12.86%	17.86%	25.0%	350.0%
財政再生基準		20.00%	30.00%	35.0%	—

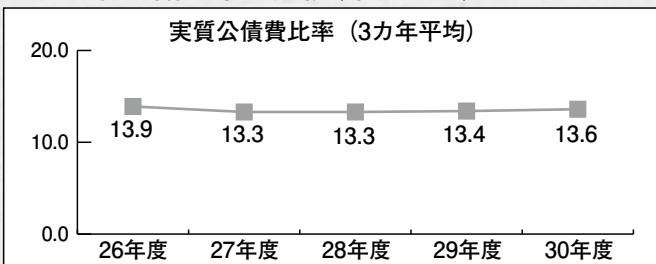
※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」としています。

資金不足比率	特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
南丹市上水道事業会計		—	20.00%
南丹市下水道事業特別会計		—	

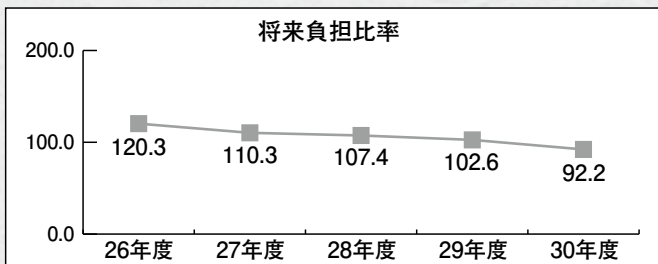
※資金不足額がないため、資金不足比率は「—」としています。

○財政健全化判断比率等
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、監査委員の審査に付した上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民の皆さんに公表することとされています。

○健全化判断比率の推移(単位: %)



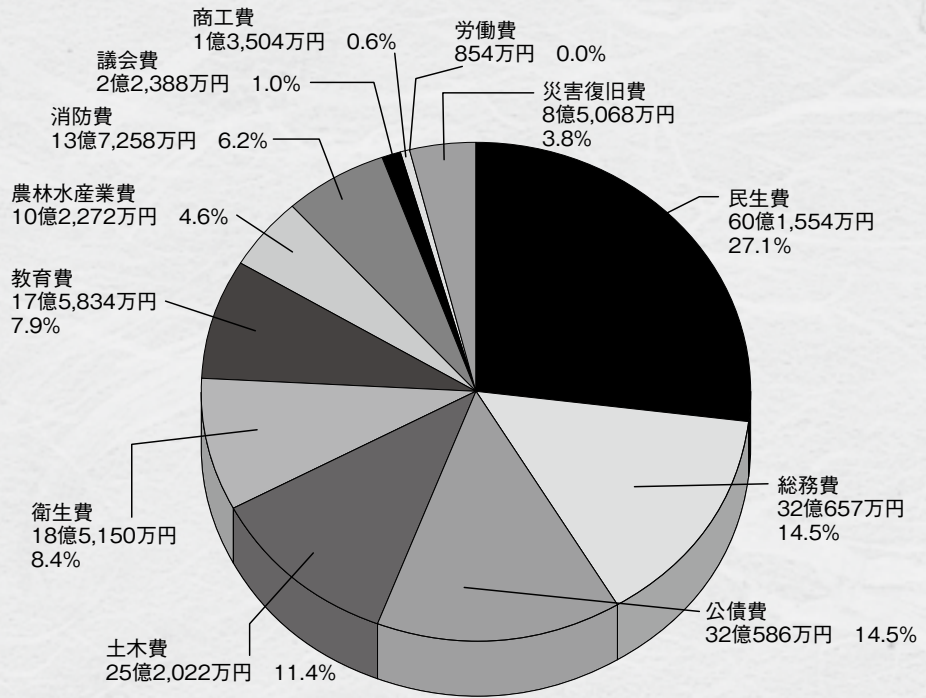
借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、南丹市の財政規模に対する割合で表す指標です。



借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、市の財政規模に対する割合で表す指標です。

財政状況を

一般会計 歳出
221億7,147万円



○特別会計の決算
特別会計とは、特別の事業を行うために一般会計と分けている会計のことです。国からの補助金などもありますが、その経費は受益者(サービスを利用される方)が負担するのが原則です。
南丹市には6つの特別会計があり、平成30年度のそれぞれの決算状況は、右下の表のとおりです。

○企業会計の決算
企業会計とは、市が直営する水道・病院・交通など、自治体が住民福祉の増進を目的に設置し、経営する企業の会計のことです。
南丹市は水道事業を企業会計としており、収益的収支4710万円の純利益(黒字)を計上することができました。
資本的収支では、4億5566万円の収入不足となりましたが、留保資金などで補てんしました。

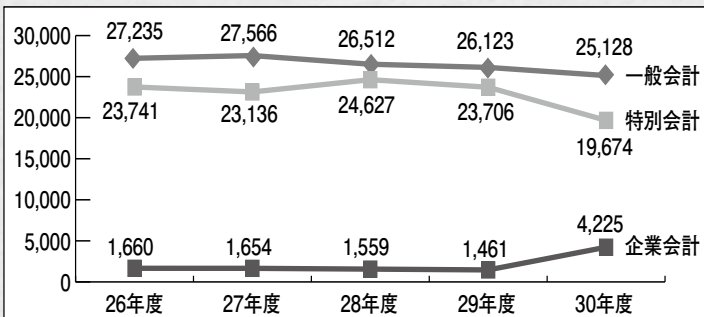
特別会計

名称	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	36億7,331万円	36億3,787万円	3,544万円
介護保険事業	43億4,544万円	42億222万円	1億4,322万円
市営バス運行事業	5,744万円	5,274万円	470万円
下水道事業	26億1,636万円	25億9,936万円	1,700万円
土地取得事業	23万円	23万円	0円
後期高齢者医療事業	4億8,211万円	4億7,395万円	816万円

企業会計

会計名	歳入	歳出	差引
上水道会計	10億9,510万円	10億4,800万円	4,710万円
資本的	1億4,218万円	5億9,784万円	▲4億5,566万円

○地方債残高の推移(単位：百万円)



○地方消費税交付金(単位：万円)

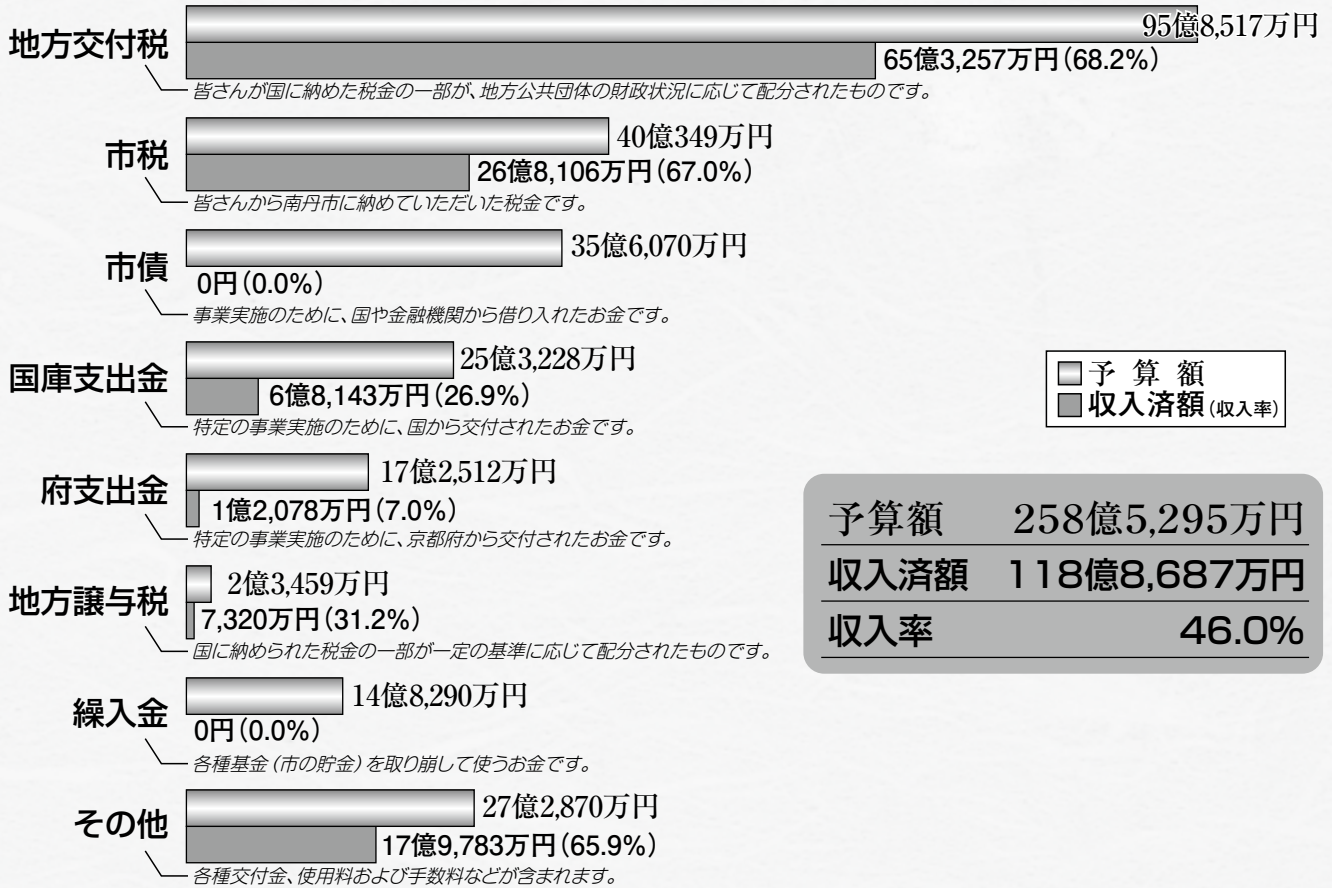
(地方消費税引上げ分の社会保障施策への充当)

地方消費税交付金(社会保障財源分)充当事業区分	事業費	地方消費税交付金(社会保障財源分)充当額	充当割合
社会福祉費	219,739	12,320	5.6%
社会保険	108,312	10,592	9.8%
保健衛生	15,126	1,674	11.1%
計	343,177	24,586	7.2%

令和元年度予算執行状況

一般会計 《歳入》

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入



市民1人あたりに使われる市のお金

82万円

市民1人あたりが負担する税金(市税)

13万円



1世帯あたりに使われる市のお金

181万円

1世帯あたりが負担する税金(市税)

28万円

◆算出方法◆

市民(世帯)に使われるお金=総予算 ÷ 人口(世帯数)

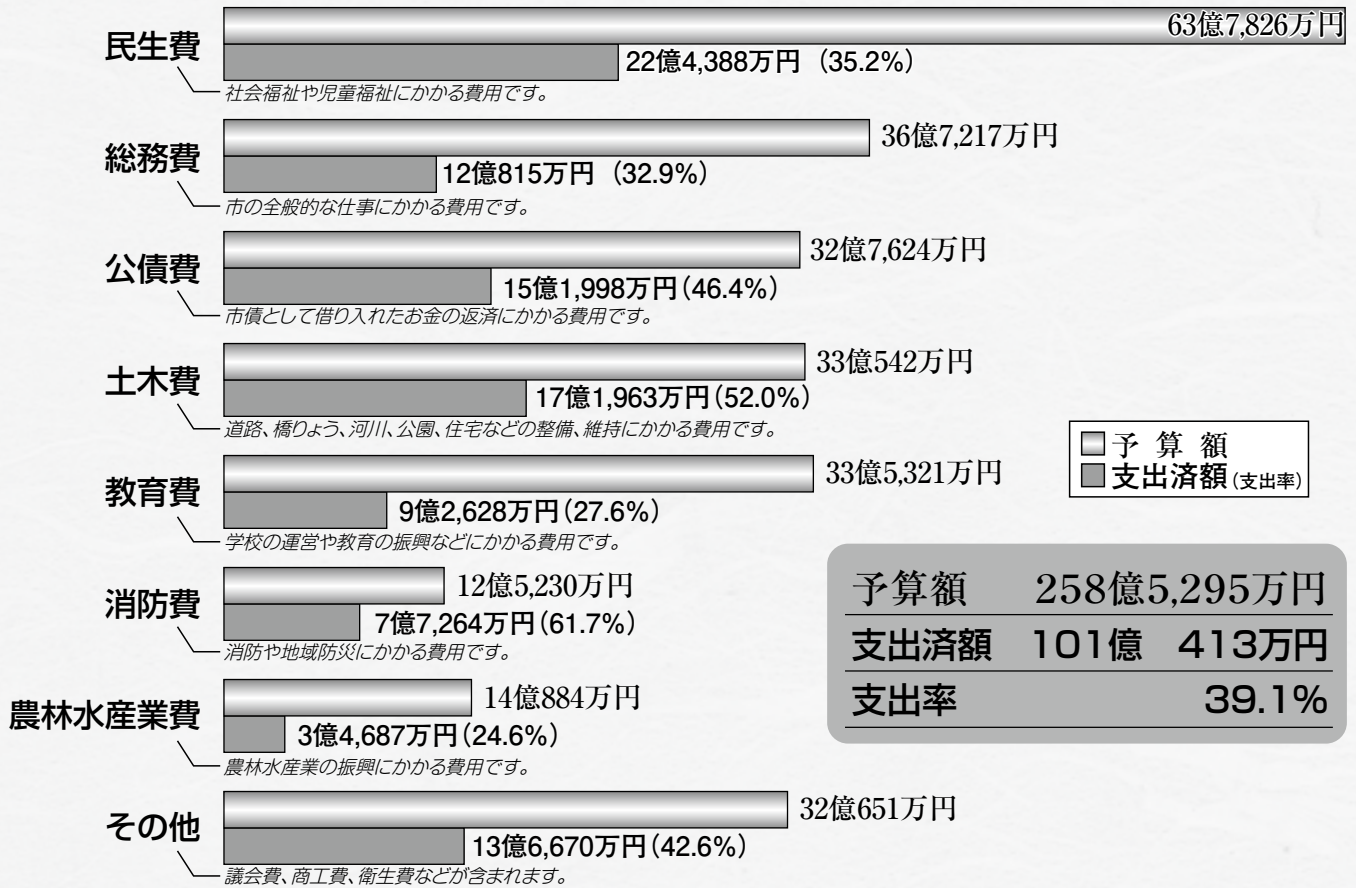
市民(世帯)が負担する税金=市税予算 ÷ 人口(世帯数)

※令和元年9月30日現在の

人口 31,670人 世帯数 14,268世帯

一般会計 《歳出》

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入



特別会計

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入

名称	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	36億9,597万円	13億7,293万円	37.1%	13億7,559万円	37.2%
介護保険事業	43億4,231万円	17億6,454万円	40.6%	17億 803万円	39.3%
市営バス運行事業	9,962万円	1,448万円	14.5%	2,199万円	22.1%
下水道事業	26億6,063万円	16億2,304万円	61.0%	11億9,327万円	44.8%
土地取得事業	17万円	2万円	11.8%	2万円	11.8%
後期高齢者医療事業	5億 299万円	1億5,208万円	30.2%	1億5,622万円	31.1%

企業会計(上水道事業)

※ 繰越予算額を含む
※ 単位未満四捨五入

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	支出率
収益的	10億9,622万円	3億8,783万円	35.4%	10億6,173万円	1億7,679万円	16.7%
資本的	2億3,647万円	973万円	4.1%	7億7,394万円	1億5,476万円	20.0%

行政 トピックス



やさしく人権を守るまちに

―明るく、やさしい地域づくり

―地域連携研修大会―

11月17日、国際交流会館で「明るく、やさしい地域づくり」地域連携研修大会が開催されました。非行や犯罪をした人の更生や見守り支援などを行う、南丹市と京丹波町の保護司会や更生保護女性会らでつくる連絡協議会を6月に結



▲警察音楽隊・カラーガード隊による演奏



▲軽快なトークで会場を沸かせる上原さん

成され、今回が初めてとなる研修大会を開催されました。

開会に際し、西村市長は「安心安全な地域社会のため、各機関との連携を取りながら、今後も、明るくやさしい社会」の輪が広がってほしい」とあいさつしました。

大会では、府立淇陽学校児童生徒による太鼓演奏でオープニングを飾った後、京丹波町と市内の児童や生徒による「社会を明るくする運動」の作文発表などが行われました。また、京都府警察音楽隊・カラーガード隊による演奏のほか、京都府暴力追放推進運動センターの上原忠晴さんの講演があり、犯罪や詐欺から身を守る方法をユーモアに語られました。

恒久平和への誓いを新たに

―令和元年度

南丹市戦没者追悼式―

10月24日、日吉町生涯学習センターで南丹市戦没者追悼式を行いました。遺族や来賓ら約160人が参列され、先の大戦で尊い命を捧げられた南丹市出身の英霊に対し、追悼と感謝の意を表しました。

式典で西村市長は献花するとともに「悲劇を二度と繰り返さないことを誓う。平和で人権が尊重されるまちづくりに取り組むことが御霊に報いる道だ」と式辞を述べました。



▲式典で祈る参列者



▲受賞された4社代表の皆さんと市理事者

模範となる施工業者を表彰

―令和元年度

南丹市優良建設工事表彰式―

10月29日、市役所で令和元年度南丹市優良建設工事表彰式を開催しました。今回は、株式会社平和建設、丹波建設株式会社、クニテック株式会社、日建工業株式会社を表彰しました。

式典に際し、西村市長は「他の模範となる優れた工事を施工いただいた」と感謝を述べました。受賞された皆さんからは「今回の表彰を励みに向上していきたい」「地域の方に喜ばれるよう努力したい」などと、あいさつされました。

魅力ある南丹市を目指して

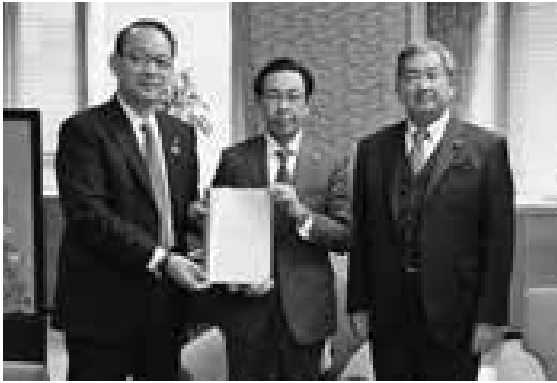
— 京都府に対する

要望書の提出 —

11月11日、京都府庁で令和2年度の京都府予算における要望書の提出を行いました。南丹市出身の片山誠治府議会議員とともに出席し、西村市長から西脇知事に手渡し、さまざまな課題や展望を西脇知事と会談しました。

要望書では、今後、南丹市が進めようとしている企業誘致施策や主要道路の整備などについて支援などを求めています。

これからも南丹市の発展に向けた取り組みを進めていきます。



▲要望書提出の様子(左から：西村市長、西脇知事、片山府議会議員)



▲スタートイベントで意気込む参加者の皆さん

認知症の方とつながぐタスキ

— R U N 伴京都2019 in 南丹 —

10月18日、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目的に、認知症の方や地域の方などがタスキを全国につないでいくリレーイベントが開催されました。美山小学校から園部第二小学校までをコースとし、市内の認知症の方や医療・福祉関係団体の職員ら約50人が参加しました。

スタートイベントに参加した西村市長は「RUN伴を通して、認知症の方に対する理解が深まってくことを願う」とあいさつしました。

地域と学校とを繋ぐ役割に

— 南丹市地域学校協働活動推進員 全体研修 —

10月30日、南丹市地域学校協働活動推進員の全体研修会を開催しました。研修会では、推進員の役割を教育委員会から説明し、その後文部科学省のコミュニティ・スクールマイスター大谷裕美子さんおおたに ゆみこから自身の取り組みを通じて、推進員としての活動について学び、また、各校の活動についても活発に交流がされました。

今後、地域・家庭・学校が次代を担う子どもたちを協働して育む繋ぎ役としてお世話になります。



▲自身の取り組みを紹介する大谷さん



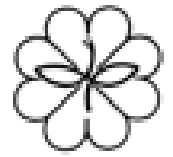
▲檻の設置を進める猟友会や地元の方々

オリ×ICTでサルを捕獲

— 南丹市有害鳥獣捕獲対策事業 —

12月6日、園部町南八田区で有害鳥獣捕獲対策事業として、ICTを活用したサル的大型捕獲檻の設置が行われました。

同区には、約50頭の群れが出没し、農作物の被害を受けています。檻はスマートフォンなどを使用し、遠隔操作で閉めることができ、被害の防止や群れの分裂を防ぐことを図ります。立ち会った猟友会のメンバーは「被害を少なくし、地域の皆さんに安心して喜んでもらえたら」と話しました。



地域の相談役 民生児童委員を紹介します

令和元年12月1日付けの民生委員・児童委員の一斉改選により、新たに就任された民生児童委員の皆さんを紹介します。

民生児童委員は、担当の区域において高齢者や障がいのある方などの安否確認や見守り活動、子どもたちへの声かけの実施、医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、失業や経済的困窮による生活上の心配ごとなどのさまざまな相談に応じています。

また、主任児童委員は、民生児童委員と連携しながら、児童福祉に関する相談を専門的に担当し、子育ての支援や児童健全育成活動などに取り組んでいます。

ご相談のある方は、お近くの民生児童委員までお願いします。

令和元年度南丹市民生委員・児童委員退任式、就任式

児童委員退任式、就任式

12月1日、日吉町生涯学習センターで南丹市民生委員・児童委員退任式および就任式を挙行しました。長きにわたりお世話になりました62人の方々が退任され、125人の皆さんに厚生労働大臣と京都府知事からの委嘱状を交付しました。委員の任期は3年で、研修を重ねながら、地域の皆さんの相談役として活躍されます。



▲市長から委嘱状を受け取る新民生児童委員

南丹市民生児童委員の皆さん

(敬称略・氏名は常用漢字で表記しています。)

※()内は担当地区です。
※主任児童委員は各町全域を担当します。

〔園部町地域〕 《民生児童委員》

- 中尾 敬子 (宮町)
- 犬石 千穂 (上本町)
- 畑 文雄 (本町)
- 松波 数行 (若松町)
- 久世 正和 (新町)
- 北村 友子 (小山東町)
- 松井 孝司 (向河原府宮団地)
- 野口 義雄 (向河原市宮団地)
- 大坪 洋子 (小山西町)
- 小林 弘和 (小山西町)
- 小林 由利子 (栄町)
- 中西 一郎 (美園町)
- 今井 恵一 (小桜町)
- 岸本 達子 (小桜町)
- 西岡 一宏 (城南町)
- 朝倉 佳鶴 (横田)
- 石川 正幸 (横田)
- 森 節子 (黒田)
- 森 きぬ子 (上木崎町)
- 内藤 精一 (河原町)
- 北井 百合美 (木崎町)
- 寺尾 正己 (木崎町)
- 戸川 幸男 (内林町)
- 清水 登茂子 (内林町)
- 澤田 進 (千妻・曾我谷)

〔八木町地域〕 《民生児童委員》

- 池上 清二 (瓜生野・熊崎・新堂)
- 田中 よりこ (船岡)
- 片山 和昭 (高屋・大戸・熊原)
- 上田 剛三 (越方・佐切)
- 小寺 千百合 (竹井)
- 小寺 貞明 (仁江)
- 人羅 孝之 (船阪)
- 中西 博美 (大西)
- 片野 妙子 (穴人)
- 塩田 英子 (半田)
- 松田 健司 (口人・口司)
- 鈴木 依子 (殖生)
- 下間 壽雄 (南八田)
- 奥村 直樹 (天引)
- 岡田 佳子 (法京・大河内)
- 谷利 千恵子 (殿谷・若森・南大谷)
- 吉田 靖・西井 みゆき
- 小林 正子
- 谷口 和隆 (本町1丁目)
- 浮田 節子 (本町2・3・4丁目)
- 土屋 利幸 (本町5・6丁目)
- 西田 力 (栄町1・3丁目)
- 山脇 昇 (栄町2丁目・垣内・柴山)

秋田 均 (栄町2丁目)
 岡本 眞幸 (本郷東)
 城戸 康二 (本郷西・南・北)
 川勝 厚子 (西田・井ノ尻)
 麻田 潤一 (屋賀・観音寺)
 川勝 健二 (屋賀上・青戸)
 村上 不二子 (北屋賀)
 國府 良明 (北屋賀)
 中川 文子 (氷所)
 馬淵 政子 (日置)
 廣瀬 美彌子 (刑部・北広瀬)
 藤田 洋子 (鳥羽・玉ノ井)
 若井 勝美 (美里)
 仲 絹枝 (室河原・木原・池ノ内)
 浅野 孝司 (八木嶋)
 谷口 三郎 (南広瀬・大数・折戸)
 西村 万里子 (船枝)
 松本 政代 (山室)
 三觜 陽子 (室橋)
 松本 一弥 (諸畑)
 蓑内 千づる (池上・野条)
 都筑 大乘 (神吉上)
 池田 好孝 (神吉上)
 上前 重雄 (神吉下・和田)
 《主任児童委員》
 岡本 千秋・竹野 清隆

【日吉町地域】
 《民生児童委員》
 滝村 小百合 (殿田上)
 井尻 和夫 (殿田下)
 湯浅 美紀 (木住)
 鍋田 和夫 (生畑)

坪井 秀粹 (中世木)
 杉尾 富美子 (東胡麻)
 松原 明広 (新町・後野・日吉平)
 湯浅 宗一 (西胡麻駅前・栄ヶ丘・胡麻荘園)
 牧野 正勝 (角本・中村・中野辺)
 伊藤 泰三 (イングラントヒルズ)
 寺阪 明美 (上胡麻)
 北側 知子 (広野)
 松尾 敏生 (畑郷)
 塩貝 克也 (上保野田)
 今井 昌仙 (下保野田)
 吉田 美津子 (志和賀)
 吉田 弘一 (上佐々江)
 佐々江 茂男 (中・下佐々江)
 加地 一郎 (海老谷・東組)
 加地 宏幸 (吉野辺・中組)
 廣嶋 忍 (興風・彰徳)
 奥村 一彦 (新シ・和田)
 上段 壽三郎 (片野・片野住宅・東雲・ヴェルビュー
 ヴィレッジ)
 《主任児童委員》
 井尻 雅丈・栃下 春美

【美山町地域】
 《民生児童委員》
 中野 真弓 (南・北)
 名古 明美 (中・河内谷)
 上澤 秀春 (下・知見)
 高野 和恵 (江和・田歌)
 中野 良美 (芦生・白石・佐々里)
 近澤 愛子 (又林・下平屋)

中村 恵子 (上平屋・安掛)
 東 洋子 (野添・長尾・深見)
 原田 朱美 (荒倉・大内・内久保)
 視淵 ちづる (原・板橋・宮脇)
 南 清 (下吉田・島)
 安土 敦夫 (長谷・上司)
 清水 知江美 (和泉)
 北川 幸子 (静原)
 小畑 正彦 (今宮・栃原・砂木)
 大矢 強馬 (棚・川合・殿・舟津)
 岡本 忠好 (松尾・神谷・名島・洞)
 仲田 正和 (田土・上吉田・林)
 相模 愛子 (庄田・脇・熊壁・山森)
 東 敏江 (萱野・大野)
 山名 美智子 (川谷・岩江戸)
 古屋 義美 (脇谷・小淵・音海)
 山口 美都子 (向山・榎原)
 《主任児童委員》
 中藤 琴美・平井 隆

☆民生児童委員に関する
 福祉相談課 お問い合わせ
 Tel(0771)68-0023



ご退任された皆様
 ありがとうございました

退任式に出席された皆さん

活躍する南丹市の人びと

市民の皆さんが活躍する南丹市に――。

このコーナーでは、まちづくりにおけるさまざまに分野で活躍される市民の皆さんを紹介します。

更生保護制度施行70周年記念
全国大会 法務大臣表彰 受賞

南丹地区保護司会

ながの
長野 善美さん



10月7日、更生保護制度施行70周年記念全国大会が東京国際フォーラム(東京都千代田区)で行われ、南丹地区保護司会の長野善美さんが法務大臣表彰を受賞されました。

更生保護制度とは、非行や犯罪をした人の更生や見守り支援などを行うもので、自立を図ることを目的としています。



▲(右から)南丹地区保護司会 橋本尊文会長、長野さん、西村市長

10月28日には、西村市長に受賞を報告するために来庁されました。長野さんは「今回の受賞は大変うれしく、また、これまで一緒に活動してきた保護司会の皆さんには頭が上がりません」と話されました。また、20年におよぶ活動を振り返り、「担当した子が更生し、数年後には立派に成長した姿を見たりすることにやりがいを感じた」と思い出深いエピソードを語られました。

第63回 生活と環境全国大会
環境大臣表彰 受賞

公益財団法人 京都高度技術研究所

なかむら
中村 一夫さん



10月28日から30日にかけて、第63回生活と環境全国大会が熊本城ホール(熊本県熊本市)で行われ、公益財団法人京都高度技術研究所の中村一夫さんが環境大臣表彰を受賞されました。

中村さんは昭和48年から京都市で環境行政に従事され、使用済みの食用油からバイオディーゼル燃料を作る技術開発やバイオマス利活用事業などに携われてこられました。

また、環境省のエコ燃料推進会議の委員やエコ、エネルギー政策に係る審議会委員を務められたほか、南丹市においても「バイオマス産業都市構想」の策定に係る環境審議会に携わっていただきました。

10月28日、西村市長への受賞報告では、「社会に残す事業ができて大変うれしく感じている」と中村さんは受賞の喜びを語られました。

また、「全国には、南丹市に似た中山間地のまちが数多くある。バイオマスで地域活性化を図ることができれば、全国的なモデルとして発信することもできる」と今後の南丹市に秘めた可能性を熱く語られました。



▲西村市長(右)へ受賞報告する中村さん(左)

南丹の景観ちょっと情報

景観の小窓



園部町 竹井区 摩気神社

【園部町 竹井区 摩気神社】

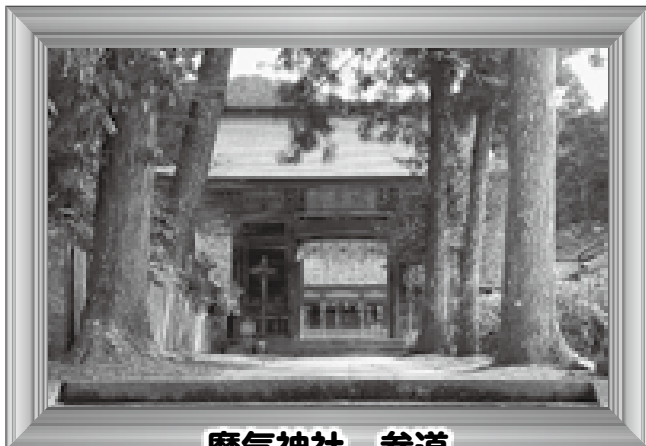
府道54号線を南丹市役所方面から篠山方面へ向かいますと、左側に摩気神社が見えてきます。

摩気神社は、8世紀には存在していた大変由来がある神社で、かやぶき屋根で覆われた社殿や石造りの鳥居などは、京都府の文化財として指定されており、境内は落ち着いた神聖な雰囲気漂わせております。

昔の時代にタイムスリップしたような景観を持つ摩気神社の境内や周辺は、多くの時代劇のロケ地としても使われております。



第32景



摩気神社 参道



社務所から見る西摂社



境内の様子



拝殿と佐吉狛犬

★南丹市HPで、カラー版も掲載しております！★

URL : https://www.city.nantan.kyoto.jp/www/town/126/010/000/index_46247.html

**届出対象行為は、工事
着工の30日前までに
届け出を！**

美山町地域で、建築物の建築や工作物の建設、土地の形質変更、土石等の堆積を行う場合には、着工する30日前までに市への届け出が必要です。届出対象行為は、市ホームページなどに掲載しておりますので、ご確認ください。

また、行おうとする行為が届け出の対象になるかなど、ご不明な点や景観計画に関することは、地域振興課または美山支所総務課までご相談ください。
市民の皆さんをはじめ、南丹市に関わる多くの方と一緒に、優れた景観を守り育てていきたいと考えていますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ先

地域振興課

Tel (0771) 68-0019

美山支所市総務課

Tel (0771) 68-0040

よんこまなんたん協力隊

その8

協力隊の現在 巻

卒隊と入隊が
続いた秋。

「こんな人が活動
しているの？」を
知ってもらえるよう
改めて隊員を
紹介します！

4期
山内隊員
心理カウンセリングで
DIY
011で空き家再生をし、
定住人口増加を目指す。

根井隊員
心理カウンセリングで
小さなことからみんなの
困りごとを解決していく

3期
ものづくりと情報発信
デザインや編集が
得意な3期。
南丹市の魅力を色々な媒体を
通じて発信しています。
(ペーパー、動画、イベント)
大矢隊員
嶋田隊員

5期 さつまいも栽培とPR
南丹市ならではの農業を実践し
全国に魅力を発信していきます

吉田隊員
改めてよろしくお願ひします

お困りごとがあれば、お気軽に
お問い合わせください!!
(nantan.doors@gmail.com)

3 1
4 2

イラスト・大矢隊員

◎『南丹辞典』収録の南丹を知る言葉

雪【ゆき】

南丹市では美山が一番雪が降る。ほぼ日本海側の気候である。一番雪に慣れているので、一メートル降ってもすぐに雪かきをするが、それ以外の三町ではたまに雪がたぐさん降ると交通に混乱が生じる。日吉では、軽トラに曲げた魔ガードレールを結び付け、集落を除雪してくれるおじいさんや、自前のトラクターで雪かきをしてくれるお

◎協力隊ニュース

5期・吉田隊員がさつまいも栽培の本格始動に向けて、クラウドファンディングに挑戦しています。幻のおいも「南丹銀時」栽培を通じて、農業の活性化・交流人口拡大などを目指します。

問い合わせ先・南丹市地域振興課
TEL(0771)6810019



福祉とわたし³⁸ <<<for our happiness>>>

福祉は、私たち一人ひとりが幸せに暮らすためにあります。

成年後見制度をご存知ですか

「これからも安心して暮らしていくために」

制度の内容

成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力が十分でない方の権利を守る援助者を選ぶことで、法的に支援する制度です。

利用の際は、家庭裁判所に申し立てを行います。選任された成年後見人などが本人に代わって、財産管理や契約行為(身の回りの必要なサービスを手配すること)を行い、本人が安心して暮らすことができるようにサポートします。

成年後見制度 ～たとえばこんな時～

○物忘れが多くなった一人暮らしの親が、消費者被害にあわないか心配

《成年後見制度を利用することで》

↓
認知症のご本人が、内容をわからないまま契約をしてしまっても、後見人として契約を取り消し、ご本人を法的に保護することができます。

相談窓口

京都家庭裁判所内後見センター
TEL(075)722-7211

福祉相談課

TEL(0771)68-0023

高齢者の方の相談は、お近くの地域包括支援センターでもお伺いします。

自分自身のため、ご家族のため、必要な?と感じたときは「成年後見制度」の利用をご検討ください。

食は、

まぢぜみ、
まぢぜみ



-39-

「まぢぜみ」の取り組みから その道のプロに教わる

食の楽しみ方

「まぢぜみ」は、お店の方が講師となり、プロの技やコツを教える少人数制の講座のことで、年2回開催されています。

初めてのペーパードリップ

園部町の本町でお店を構えられているカナモンやCafeイヌイシさんでは、手軽に自分で美味しいコーヒーを淹れて楽しみたい方を対象に、ペーパードリップを使ったコーヒー抽出の体験が行われました。ペーパードリップはペーパーフィルターにコーヒー粉を入れお湯を注ぐコーヒーの淹れ方です。コーヒー豆の焙煎、ブレンド、挽き方、豆の保存方法など、知ってそうで知らなかったコーヒー豆の知識を学びました。

講師の犬石さんがまずコーヒーの淹れ方のポイントを教えながら、コーヒーを抽出され、味見をさせてもらいました。その後、参

加者の皆さんもお湯を注ぐ速さや注ぐ位置などアドバイスを受けながら、一人一人ドリップコーヒー抽出に挑戦しました。



▲ペーパードリップの様子



見ていると自分でもできそうですが、実際にやってみると難しさに驚かれています。それぞれが淹れたコーヒーを飲み比べてみると、同じ豆でも淹れる人によって味が異なり、コーヒーの奥深さを感じていました。

その後、コーヒー豆やドリップに使用する器具について質問、アドバイスを受け、まぢぜみは終了しました。

天然酵母パンの奥深さ

日吉町にあるパン工房農くみのりくさんは、天然酵母パンの奥深さを体験してみようというテーマで、天然酵母でつくるパンクッキー作りが行われました。

天然酵母は、発酵に時間がかかるように、体験当日は発酵させた生地が準備されていました。その生地を参加者の皆さんで等分して、鉄板の大きさに合わせて生地を伸ばし、長方形の食べやすい大きさに切って焼きました。

焼きあがるまでの間に、講師の水谷さんのパン作りについて話を聞きました。天然酵母とイーストの違いや、添加物のない安心安全な材料、国産・地元産を使うことなど水谷さんのこだわりを教えてくださいました。創業以来約二十年ほど同じ材料、同じ製法でパンを作り続けているそうです。



▲水谷さんの話を聞いている様子

今回は、コーヒーと天然酵母パンをテーマとした「まぢぜみ」について紹介させていただきました。この事業では、食について実際にその道のプロの方とコミュニケーションをとりながら学ぶことができます。楽しみながら食について考え学び、いつもと違う視点から食を見つめてみるのはいかがでしょうか。



▲できあがったパンクッキー

「第2回南丹まぢぜみ」は2月に開催予定です。予約制の少人数制の講座となっております。講師の方がじっくり教えてくださいます。食以外にも健康に関するものなど、さまざまな分野のゼミが開催されますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。

毎月19日は「食育の日」

問い合わせ先

南丹市食育推進委員会
(事務局・保健医療課)

TEL(0771)68-0016

いきいき南丹

-95-

受けないなんてもったいない！

健診を受診しましょー

新しい一年が始まりました。今年の抱負や目標はなんですか？

「今年こそ〇〇に挑戦しよう」「旅行に行きたい」「仕事をバリバリこなしたい」「家族のためにやっとなげたい」・・・など、皆さんやりたいことはさまざまだと思います。

その実現のために大切なことは、健康であることです。いつも元気であるためにできること。その一つが健診を受けることです。南丹市では、毎年4月から5月に集団健診、5月から9月に個別健診を実施しています。集団健診では、各種がん検診も一緒に受診できます。

令和2年度の市民健診の申し込みは、**2月中旬に各家庭にお届けします。**
忘れずに申し込みましょう。

健診受診のメリット

1. 生活習慣病を早期に発見

生活習慣病は、気が付かずに放っておくと脳卒中や心臓病など命にかかわる病気を引き起こします。健診を受けていけば、早い段階で身体に起こっている異常に気付くことができます。

2. 継続して健康状態を把握

毎年続けて受けることで、数値の変化を比較できます。良くなっていけば、励みにもなります。こうして、未来の健康を維持・増進することが可能です。

3. 軽い負担金で健康チェック

市民健診は、一部の自己負担金で必要な検査を受けることができます。お財布にも優しいのです。



4. 医療費負担も軽くなる

長期的な治療が必要になれば、医療費もかかる…。それを予防することができれば、医療費負担も軽くなります。



Q&A

よくある質問

去年受けたから今年も受けなくてもいいですか？

毎年健診を受けることで、身体の状態の経年的な変化が分かります。日々の生活習慣の積み重ねが引き起こす生活習慣病予防のためにも、毎年受診しましょう。

通院中で検査も受けているから健診は必要ないですか？

健診で行うすべての項目を病院先で検査しているとは限りません。ぜひ受診しましょう。

仕事や子育てで忙しくて健診を受ける時間がありません。

健診は半日程度で終わります。あなたが今、病気になるたら困る人がいませんか？時間を作ってぜひ受けてください。

健診を受けた後も大切です

健診の結果は、あなたへの体からのメッセージです。目に見えない、不調も感じない時から体の変化が起こっているかもしれない。体からのメッセージをしっかりと受け取り、健康な未来に向けた取り組みを始めましょう。

結果で気になることがある方、生活改善が必要な方は、保健師や栄養士があなたの健康づくりのサポートをします。お気軽にご相談ください。

がん検診も忘れずに受けよう

がんは2人に1人がかかり、日本人の死因の第一位といわれています。

胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんの5つのがん検診は、かかる患者数や死亡率が高く、それぞれのがん検診を受けることでがんにかかり亡くなる率を下げる効果が科学的に証明されています。集団健診では、この5つのがん検診を同時に受けることができます。

問い合わせ先 保健医療課
TEL (0771) 68-0016

「自分も友達も大切」

八 木西小学校では、子どもたちが、人権について深く考え学び合うことを大切にしています。その機会として、今年度は、5月に人権アピール集会を設定し、今年度のスローガンやテーマ曲、人権の日の取り組みについて、児童に提示をしました。スローガンの掲示では、子どもたちがより深く考えられるようにと、教師による寸劇も行い、自分の普段の行動を振り返る良い機会となりました。

ま

また、本校では、日々人権教育を大切に位置付けています。特に、人権について深く考え

学び合うために、毎月15日を「人権の日」としています。今年度は、「ふやそう！ぼかぼかことば」をスローガンに、友達に言ってもらって嬉しかった言葉をハート型の紙に書き、各学年で1本の「ぼかぼかの木」となるように掲示をしています。また、児童委員会でも取り組みを行い、本部集会委員は、毎朝登校時に「おはようタッチ」と題して、挨拶をしながら、目と目を合わせ、子どもたち同士がハイタッチを交わしていたり、体育委員会が中心

となって朝から全校で楽しく遊ぶ取り組みを行ったりしています。

ま

た、11月11日には、八木地区人権擁護委員の方が来校

され、2年生を対象に、人権教室を行いました。まず、「白い魚とサメの子」の紙芝居をしていただき、子どもたちは、自分らしく生きることの大切さや、友達と仲良くすること、いじめは決して良くないことなどを学ぶことができました。そして、生命の尊さを実感し、その中で豊かな心や優しさ・思いやりの心を育むために、人権の花「スイセン」の球根の植え付けを行いました。児童たちは、「大きくなって、綺麗な花を咲かせてね」という優しい気持ちで植えることができました。



日

々の積み重ねが大切である人権教育は、今後も、引き

続き全教育活動を通して取り組み、自分も友達も大切にできる八木西つ子を育んでいきます。

(八木西小学校人権教育主任

田中 琴野)

ふ・れ・あ・い



—第40回—

同和問題(部落差別)とインターネット

2016年12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」(部落差別解消推進法)が公布・施行されました。

この法律では、部落差別の解消を明記し、国及び地方公共

共同体に教育・啓発の実施と相談体制の充実を求め、国による実態調査の実施について規定しており、インターネット社会における部落差別の助長を防止・解決する目的をもって、法律の全体が構成されています。

今日におけるネット上での部落差別事象を見てみますと、差別書き込み事件、ネット上の同和地区マップ・地名一覧問題、「全国部落調査」復

刻出版事件、さらには「部落探訪」サイト問題など、差別の現状はむしろエスカレーター・悪質化しています。これらは、部落差別を助長する許しがたい行為です。

部落差別解消推進法が、憲法上の基本的人権の保障にのっとり「部落差別は許されない」とする認識を示したことは、ネット上の部落差別が憲法上許されないとする前提を意味しています。国や地方公共団体をはじめ、差別事象に関わる当事者はこの前提を共有し、対処することが求められています。

最近では、ネット上に部落差別を許さないとする個人の意見やブログもたくさんあります。また、国や地方公共団体、人権教育・啓発団体の同和問題に対する取り組みも多く掲載されています。私たちはこれらのネットの意見や情報を通じて、部落差別とは何か、差別を助長する行為とは何か等について、しっかりと考えていくことが大事なのではないでしょうか。

(人権政策課)



高齢者向け紙芝居を「存じ」ですか?

1年代にマッチした笑い感動も、紙芝居で

紙芝居と聞くと、昔のもの・子どものもの、というイメージを持たれることが多いのではないのでしょうか。実は、高齢者向けに作られた紙芝居があるのをご存じですか。

内容は、高齢者が昔の暮らしや遊びを思い出すものや、名作小説を題材としたもの、

さらにはオレオレ詐欺防止を題材にしたものなど、バリエーションに富んでいます。介護の現場で使われることが多い、南丹市内でも利用が増えています。

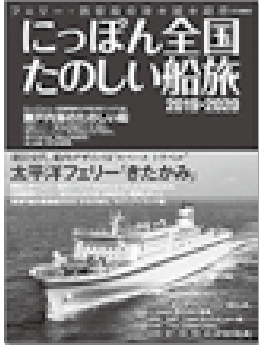
高齢の方々の集まりやレクリエーションの場で、使ってみてはいかがでしょうか。

新刊紹介

『につぼん全国たのしい船旅』

発行：イカロス出版

2019-2020



クルーズブームの今、フェリーの旅はいかがですか。豪華客船の旅から片道10分のショートトリップまで、色々な船旅をご紹介します。

『おもちさんがね...』
さく・え...とよたかずひこ
発行：童心社



網の上でこんがり、気持ちよく焼けるおもちさんたち。ところが、ぶすっとしぼんでへによへによへによへ。おいしいおもちさんになるかな?

暮らしとホッと



—第65回—
ドライブレコーダーの映像は定期的に確認を!

ドライブレコーダーの映像は定期的に確認を!

(独)国民生活センター
見守り新鮮情報
第339号より

事例1 ドライブレコーダーを取り付けたが、SDカードの不良でデータが録画されていなかった。(70歳代 男性)

事例2 自動車を運転中、交差点で対向車と衝突した。ドライブレコーダーに録画されているはずの映像が記録されていなかった。(60歳代 男性)



ひとこと助言

●国民生活センターに寄せられた相談事例では、事故やトラブルの時に確認した際、「初めて映像が記録されていないことに気が付いた」という例が多く見られました。

事故時の映像が残っていない!

●データを記録するSDカードの異常により、映像が記録され

ていないケースがあります。

SDカードは定期的に初期化しましょう

●SDカードは定期的にフォーマット(初期化)する必要があります。また、繰り返し使用し、劣化していく消耗品なので定期的に交換しましょう。

●取扱説明書をよく読んで、ドライブレコーダーに合ったSDカードを使用し、本体に異常が生じていないかの確認も含め、映像が正常に記録されていることを定期的に確認しましょう。

●法務省を名乗る「消費料金に関する訴訟最終告知」など架空請求ハガキが南丹市内に送付されています。

●商品やサービス購入などで困りごと、不審に思うことなどがあつたら、左記窓口にお気軽にご相談ください。

消費者ホットライン

TEL 188 (いややー)

○南丹市消費生活相談窓口

TEL (0771) 68-0100

月曜・火曜・金曜(祝日は休み)

午前9時〜午後4時

○京丹波町消費生活相談窓口

TEL (0771) 82-3803

水曜・木曜(祝日は休み)

午前9時30分〜午後4時

(商工課)



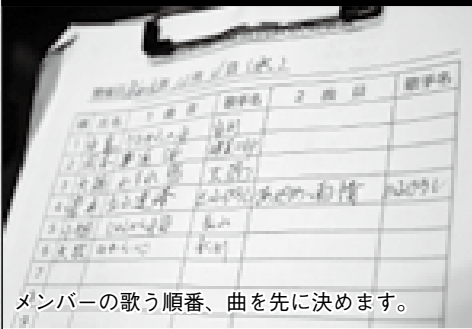
楽しく歌を歌います ～美山歌謡同好会～

歌うことが大好きな者同士が集まった「美山歌謡同好会」は30年以上続く歴史あるボランティアグループです。

現在は男性6人と女性3人で活動されており、第1週、3週の水曜日に大野ダム付近のレストラン、「レイクサイドカフェ虹」のラオケルームに集まります。

昔は、敬老会などに招待され、歌を披露されておりましたが、現在では社会福祉チャリティーとして開催されている「カラオケ歌謡フェスティバル」に出場するなど、歌を通じた幅広い活動をされています。このカラオケ歌謡フェスティバルでは南丹市内、京丹波町内から100人以上の参加があり、参加費から運営費を差し引いた余剰金を社会福祉協議会に寄付され

活動の様子(12/4)



メンバーの歌う順番、曲を先に決めます。



決めた歌を歌い、採点を行います。

一緒に歌を歌いませんか

「美山町歌謡同好会」は会員を募集しています。

毎月第1・3水曜日の午後7時30分から10時30分まで、「レイクサイドカフェ虹」で活動しています。

メンバー同士で歌を歌い楽しく盛り上がり、自分の好きな歌を練習したりします。

興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

《問い合わせ先》

南丹市社会福祉協議会美山事務所
TEL：(0771)75-0020



▲美山町文化祭で歌を披露するメンバー

ているそうです。その他にも美山町文化祭にも毎年出演されており、目標を尋ねると「まだまだ歌が

上手くなりたい」とメンバーは話され、その言葉通り、「活動中にお酒は絶対に飲まない。歌の採点を行い記録する」などの会独自のルールを設けているそうです。その他にも番号が書かれたお箸を全員で引き、歌う順番を決めるなどの決まりもあり、皆さん楽しそうに歌を歌っていました。

「もっとたくさんの人に歌を披露したい」と代表の大隅さんは話されており、地域のイベントや敬老会での催しなどに出演し、聴いてもらう人と一緒に楽しい時間を過ごしたいという強い思いを持っておられます。

歌好きが集まる「美山歌謡同好会」の皆さん。これからも歌を聴いている人たちに楽しい時間をお届けされることでしょう。

12月2日、八木中学校体育館にて、講師に「手話エンターテイメント発信団oioi〔オイオイ〕」のお二人を迎え、八木西小、八木東小の児童、八木中学校生徒と、丹波支援学校生徒が手話表現などによる交流を通して、障がいに対する理解を深めるとともに、同じ八木地域で学ぶ仲間としてのつながりを深め合うというねらいのもと、心のバリアフリー交流会を開催しました。

児童生徒のほか、心のバリアフリー推進協議会委員、保護者・地域の方、他の小中学校教員など計152人が参加し、障がいの有無に関わらず、伝えたい思いを自分なりに表現する大切さについて学ぶことができました。



▲手話歌を練習する参加者

「手話体操や手話歌でたのしく交流」

(12/2 南丹市心のバリアフリー交流会)



▲大きな声で来場者を呼び込む、こども屋台の店員たち

10月27日、京都銀行園部支店横の広場で「まちなかハロウィン2019」が開催されました。「こども屋台」では、子どもたちが店員となり、輪投げや釣り堀ゲームなどの屋台で来場者を楽しませました。フォトブースでは仮装した親子連れが記念写真を撮っており、300人を超える参加者の歓声が響きました。

本町～上本町の商店街では協力店が参加者にお菓子を配布しました。ハロウィンの装飾をした協力店もあり、いつもと違う風景の中、自慢の衣装を身に着けた親子らが長い行列をつくりました。



▲お菓子のつかみどりを楽しむ子どもたち

「こども屋台へいらっしやいませ」

(10/27 まちなかハロウィン2019)

「緑あふれる日吉で交流を楽しむ一日」

(11/10 ひよし水の社フェスタ2019)



▲クイズに参加する子ども

11月10日、スプリングスパークひよしで「ひよし水の社フェスタ2019」が開催されました。このイベントは市民同士や都市住民との交流を通して、地域活性化を図る毎年恒例の行事となっています。

会場では、太鼓演奏やサイエンスショーなどのステージ発表や模擬店が立ち並びました。また、環境啓発コーナーでは、南丹市環境を守り育てる会によるクイズやエコバッグの配布が行われ、プラスチックごみ削減を来場者に呼び掛けていました。



▲接戦を繰り広げる参加者

10月20日、園部公園駐車場で南丹サンサン祭が開催されました。レースには府内外併せて31チームが参加し、4時間耐久で4人が交代しながら、周回数の多さを競いました。選手たちは、コーナーの多い350メートルのコースを自前の三輪車を上手く乗りこなし、必死にペダルを漕ぎました。

また、同会場では軽トラ市も開催されており、地元野菜などが販売され、多くの人が集まり、選手たちに大きな声で声援を送りました。

10/20 南丹サンサン祭

「白熱の三輪車レースを繰り広げる」

「美しい音色が地域の神社に響く」

11月17日、八木町春日神社で「ほほ笑みコンサート」が開催されました。地域の人たちの交流と参加者同士のつながりを目的に、地元住民らでつくる八木町南地区大堰塾が催されました。

ヴァイオリンやヴィオラダガンバ、ヴァイパーヴァイオリンの演奏が行われ、会場には、150人を超える参加があり、生演奏による美しい音色を堪能され、楽しいひと時を過ごされました。



▲演奏に聞き入る来場者の皆さん

11/17 ほほ笑みコンサート

「楽しみながら学ぶ下水道の知識」



▲管廊を歩く参加者ら

10月26日、南丹浄化センター（八木町）で下水道フェスティバルが開催されました。下水道への理解を深めてもらおうと、施設案内や実演コーナーなどを実施され、約130人の親子が参加しました。

施設案内では、汚水が浄化され川へ放流されるまでの様子を、順を追って見学しました。また、普段入ることのできない、多くのパイプが通る管廊に進むと、「すごい」「カッコいいね」と感心する声がありました。その後は、学んだことを思い出しながらクイズ大会に挑戦していました。

10/26 南丹市南丹浄化センター 下水道フェスティバル

「子育て、家事、お互いを支えあう」

12月7日、国際交流会館で南丹市人権フォーラムが開催されました。

オープニングは京都府人権イメージ啓発ソング・広め隊の鮎川めぐみさんと、ヴァイオリンとヴィオラのデュオで演奏されるアルゴノータが人権啓発イメージソングを披露しました。

講演では、朝日放送のお天気コーナーでおなじみの正木明さんが自身の天気予報士としての経験談をお話されました。また、不規則なライフスタイルだからこそ、家族と共有する時間を大切にしていると語られました。



▲天気予報の解説をする正木さん

12/7 南丹市人権フォーラム

—To look back on a year—

2019年の南丹市1年間の主な出来事をカレンダーにして振り返りました。南丹市はどんな1年を歩んできたのでしょうか。

7月

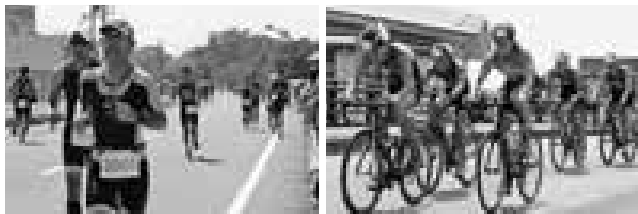
July

- 13日 南丹市地域おこし協力隊活動報告会
- 23日 天上の木10選「天狗岩のヒノキ」登山道整備お披露目会

8月

August

- 5日 南丹市旧鶴ヶ岡小学校サウンディング型市場調査
- 20日 第1回南丹市地域創生会議
- 23日 市長と語ろう、私たちのまちづくり
- 25日 第5回トライアスロン大会in南丹
全国から500人を超える参加者が集まり、過酷なレースを繰り広げました。



9月

September

- 2日 地域おこし協力隊委嘱状交付式
- 27日 斎田抜穂の儀
- 29日 南丹市総合防災訓練
塙生断層を震源とする直下型地震を想定し総合防災訓練を実施しました。



10月

October

- 1日 ぐるりんバス「新光悦村線」運行開始
- 2日 南丹安全・安心まちづくり連絡協議会
- 27日 園部藩立藩400年記念イベント
園部藩の立藩から400年を記念し、生身天満宮祭礼行列や、初代藩主のゆかりの地めぐりなどが開催されました。



11月

November

- 10日 ひよし水の杜フェスタ2019
- 11日 京都府要望

12月

December

- 2日 かやぶきの里一斉放水
- 28日～29日 令和元年 南丹市消防団年末警戒

News Digest 2019

1月

January

- 13日 平成31年南丹市消防団出初式
平成31年南丹市成人式
新成人278人が出席し、20歳の門出を祝いました。



- 30日 南丹市教育委員・社会教育委員懇談会

2月

February

- 2日 南丹市スタンプラリー謎解きゲームin
なんたん
9日 学生のまち南丹 地域連携フォーラム
24日 竹井区公民館竣工式

3月

March

- 11日 南丹市内郵便局との地方創生に関する協定
調印式
定住促進や地域経済の活性化などを目的に、市内郵便局との連携協定を締結しました。



- 20日 南丹市フォトコンテスト

4月

April

- 1日 南丹市消防団入退団式



- 6日 第22回島津製作所の森づくり活動

5月

May

- 1日 京都・南丹園部城祭り
7日 大飯原発安全協定締結式
18日~22日 世界茅葺き会議第6回日本大会2019
21日に美山町自然文化村河鹿荘とかやぶきの里を会場に、世界7ヶ国150人の茅葺き職人が訪れました。



- 26日 京都美山サイクルロードレース

6月

June

- 6日 園部公民館おやすみコンサート
10日 令和元年度第1回南丹市防災会議
27日 亀岡市・南丹市水道水の供給に関する基本協定
締結式

なんたんミュージアム

—77—

—南丹市立殿田小学校—

「校庭の桜の木」

高田 美幸さん (6年)



▶デッサン力と、構図力を生かして、樹齢を感じさせる力強い幹と可憐な花が描けました。

「一緒に遊ぶハリネズミとロボット」

湯浅 悠琉さん (3年)



▶釘を使って、ハリネズミの針やしっぽの部分、ロボットの手足の部分を表すことができました。

※担任の先生、担当教科の先生の講評を掲載しています。

「虫」

船越 璃子さん (4年)



▶それぞれの画を丁寧に力強く書くことができました。文字のバランスにも気を付けました。

「うちゅうせんについでいるロボット」

栃下 海さん (1年)



▲色画用紙をちぎってできた形から、表情豊かなロボットや宇宙人が生まれました。カラフルで、おもわず乗ってみたい宇宙船です。



●園部町

ねい ひなた
根井 陽向くん(2歳)

「我が家の太陽です。
元気いっぱい輝いて行ってね！」(父・母より)

編集後記

皆さん、あけましておめでとございます。年末年始はいかがお過ごしだったでしょうか。

社会人になってから一年が過ぎるのが早く感じてしまいます。今年こそ目標に向かい充実した1日1日を過ごしていきたいと思えます。

インフルエンザが流行する時期です。お体には十分気を付けお過ごしください。

最後になりましたが、今年もどうぞよろしくお願いたします。

(M)



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオドリ

森・里・街・ひとがきらめくふるさと **南丹市**
なんたんし



●総人口：31,584人(-13)
(男：15,276人・女：16,308人)
(-2) (-11)
●世帯数：14,261世帯(-2)
(令和元年12月1日現在)
()内は前月比

写真掲載の応募をお待ちしています。(応募数によっては順番待ちになることがあります)詳しくは秘書広報課まで

広報 **なんたん**

編集・発行：南丹市役所 市長公室秘書広報課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0065 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:hisyo@city.nantan.lg.jp



本紙は環境への配慮から、FSC®森林認証紙、ベジタブルインク(植物油)を採用しています。